

ひだかの魅力 再・発・見

日本語教室では、一人一人に寄り添った学習を。語学だけではない、大切なことを学ぶことができる場所です。



ラバル・マイキさん(下鹿山)

今回の「ひだかの魅力再発見」は、市内に住む外国人、フィリピン国籍のラバル・マイキさんをご紹介します。

正社員として新たな一歩へ

初めは日本語の上達のために日本語教室に通っていましたが、今年(令和3年12月取材)からは敬語の使い方、日本語能力試験対策、さらに正社員採用を目指し頑張ってきました。試験に向けて、毎日2時間の勉強と、週2回の日本語教室、さらに試験1か月前には勉強の時間を5時間に増やし、努力し続けました。日本語教室では、先生と友達のような関係で楽しく学ぶことができ、一人一人に合った学習内容を親身になって教えてくれます。私は履歴書の書き方や面接の練習などの対策をしてもらいました。そのおかげもあり、



▲日本語教室の様子

志望動機の主張の仕方、入室時のノック、椅子に座る時の注意点などを何度も指導してくれ、日本とフィリピンの文化の違いを知ることができます。これからは、正社員としてたくさんの経験を積み、成長していきたいです。そして、将来は日本の大学院で経済学を学びたいと考えています。

ひだか日本語教室

日本語教室では、先生と生徒という関係性ではなく楽しい雰囲気で日本語学習を進めています。詳しくは本紙19ページをご覧ください。



「ひとりで、お顔あげれるようになりました」

勝本 琳太ちゃん

0歳9か月
(台)



「初めての絵本」

佐貫 楓ちゃん

0歳7か月
(中鹿山)



お子さんの写真を掲載しませんか? 市ホームページ「便利なサービス」にある「電子申請」から投稿できます。プリントした写真を提出する場合は、お子さんの氏名・生年月日、保護者の住所・氏名・電話番号、一言コメントを市政情報課広報・統計担当へ郵送または直接お寄せください。

投稿はこちら▶

編集室

書道サークルで
聞きました!

新年の抱負!



浦田 清子さん (高萩)



桑田 啓子さん (高萩)

新年明けましておめでとうございました。新規に手書きで「寅(とら)」って、書字した写真を掲載することに決まり、模索、試行錯誤の末、初春をイメージしてもいいよと言つてしまい、時すでに遅し。昔取った杵柄で、お昼休みに必死の練習。書体がどうだ、縦書きなど、うまく書けるわ書けでもなく、格闘の末になんとか出でました。来上がりました。日頃、筆で書く機会がめっきり減ります。今年も広報ひだかを宜しくお願いします。皆さんにとって幸多き一年になりますように。

(S)